

★学校の教育目標		人権尊重の精神を基調に、心身共に健康で、たくましく生きる人間性豊かな児童を育成する。	★重点計画の概要 (1)「すすんで学ぶ力」:【問題解決力】 個に応じた指導の工夫、言語活動の充実、ICT活用を通して、自ら問いをもち仲間とともに追究し、できる楽しさ、分かる楽しさ、認められる楽しさを味わわせることによって、主体的に学ぶ力を育てる。 (2)「ゆたかな心」:【人間関係形成力】 人や自然との関わりを通して、自他の“いのち”を尊重する態度とともに、人の役に立ち、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 (3)「たくましい体」:【実践力】 オリンピック・パラリンピック教育を推進し、基本的生活習慣の確立及び望ましい食習慣の形成、多様な関わりを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、心身の調和のとれた発達を図る。
【めざす児童・生徒像】		〇すすんで学ぶ力（自ら問いをもち、仲間とともに学ぶひらやまっ子）【問題解決力】 〇ゆたかな心（“いのち”と真心を大切に、すすんで人の役に立つひらやまっ子）【人間関係形成力】 〇たくましい体（よく運動し、前向きに挑戦するひらやまっ子）【実践力】	
【めざす学校像】		平山小学校に関わる人々が、前向きに生きる力を育む (1) 児童が、できる楽しさ・分かる楽しさ・認められる楽しさを味わう (2) 保護者・地域住民の方々が、児童を安心して通学させ、自らも参画する (3) 教職員が、個性を生かし、専門性を伸ばし、組織の中で自分の能力を発揮する	
【めざす教師像】		自分の個性を生かし、専門性を伸ばし、組織の中で能力を発揮する	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	
				取組指標	成果指標
学び	自ら問いをもち仲間とともに追究し、できる楽しさ、分かる楽しさ、認められる楽しさを味わわせる。	児童一人一人の理解のしかたやペースに合った多様な学びと学び方の平山小モデルを研究開発する。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年・学級で“学びの個別化・協同化”の授業実践 2, 3学期に市立小・中学校教員対象の授業公開 	4 “学びの個別化・協同化”の授業を実践した教員が100%	4 授業アンケートで「できた」「分かった」と答えた児童が90%以上
				3 “学びの個別化・協同化”の授業を実践した教員が50%以上	3 授業アンケートで「できた」「分かった」と答えた児童が80%以上
				2 “学びの個別化・協同化”の授業を実践した教員が20%以上	2 授業アンケートで「できた」「分かった」と答えた児童が70%以上
				1 “学びの個別化・協同化”の授業を実践した教員が20%未満	1 授業アンケートで「できた」「分かった」と答えた児童が70%未満
いのち	人の役に立ち、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。	学級活動を工夫し、自分の成長を実感し、支え合い、高め合う仲間集団をつくろうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 学級会の研究授業及び研究協議会 全学級の学級会観察（2学期） 副教材「楽しい学校生活」の活用 	4 全教員が学級会の授業公開もしくは参観を合わせて3回以上行った	4 アンケートで「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が90%以上
				3 全教員が学級会の授業公開もしくは参観を合わせて2回以上行った	3 アンケートで「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が80%以上
				2 全教員が学級会の授業公開もしくは参観を合わせて1回以上行った	2 アンケートで「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が70%以上
				1 学級会の授業公開も参観も行わない教員がいた	1 アンケートで「よりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と答えた児童が70%未満
地域	よりよく生きるとともに、よりよい地域社会をつくらうとする児童を育てる。	農業・栽培体験、防災教育の充実を通して、地域と共に“いのち”を学ぶ学習活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間及び生活科の学習発表会（3学期） 学校webページによる取組の発信 	4 全学年が学校webページ、保護者会、配布物の全てで取組を発信した	4 学校公開アンケートで肯定的な回答をした保護者が90%以上
				3 全学年が学校webページ、保護者会、配布物のいずれか2つ以上で取組を発信した	3 学校公開アンケートで肯定的な回答をした保護者が80%以上
				2 全学年が学校webページ、保護者会、配布物のいずれか1つ以上で取組を発信した	2 学校公開アンケートで肯定的な回答をした保護者が70%以上
				1 取組を発信しなかった学年があった	1 学校公開アンケートで肯定的な回答をした保護者が70%未満
生活	基本的な生活習慣を確立するとともに、いじめ問題の防止、早期発見に努める。	校内生活の重点を設定して指導するとともに、児童の心境の把握に努める。 〈重点項目〉 ①あいさつ・返事・ありがとう ②時間を守る ③右がわをしすかに歩く ④聞き上手あいうえお	<ul style="list-style-type: none"> 全校朝会で生活目標の意識付けを図る児童主体の「週リーダー活動」 学校いじめ防止基本方針に基づき、毎学期、いじめ問題の早期発見のための「生活アンケート」 	4 校内生活の重点4項目や生活目標を週1回以上指導した教員が100%	4 アンケートで重点4項目全ての目標を達成できたと答えた児童が90%以上
				3 校内生活の重点4項目や生活目標を週1回以上指導した教員が85%以上	3 アンケートで重点4項目全ての目標を達成できたと答えた児童が80%以上
				2 校内生活の重点4項目や生活目標を週1回以上指導した教員が70%以上	2 アンケートで重点4項目全ての目標を達成できたと答えた児童が70%以上
				1 校内生活の重点4項目や生活目標を週1回以上指導した教員が70%未満	1 アンケートで重点4項目全ての目標を達成できたと答えた児童が70%未満
体を動かす楽しさ	体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、心身の調和のとれた発達を図る。	オリンピック・パラリンピック教育、幼小連携教育を推進し、多様な関わりを通して、児童の興味や創造性、感性を生かすよう、運動や遊びを工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 全校体育集会「パワーアップタイム」 第二幼稚園との共同研究 アスリートによる特別授業 	4 オリンピック・パラリンピック教育、又は幼小連携を学期1回以上実施した教員が100%	4 アンケートで肯定的な感想を答えた児童が90%以上
				3 オリンピック・パラリンピック教育、又は幼小連携を学期1回以上実施した教員が85%以上	3 アンケートで肯定的な感想を答えた児童が80%以上
				2 オリンピック・パラリンピック教育、又は幼小連携を学期1回以上実施した教員が70%以上	2 アンケートで肯定的な感想を答えた児童が70%以上
				1 オリンピック・パラリンピック教育、又は幼小連携を学期1回以上実施した教員が70%未満	1 アンケートで肯定的な感想を答えた児童が70%未満